

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（国語）

学校名 久木中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>結果の概要</p>	<p>A問題 すべての領域で全国・県を上回ることが出来た。 B問題 すべての領域で全国・県を上回ることが出来た。 話すこと聞くこと 読むこと の領域は全国に比べて有意に高い。</p>
<p>話すこと 聞くこと</p>	<p>○全体と部分との関係に注意して話を構成する。 話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する。 互いの発言を検討して自分の考えを広げる。 は全国に比べて有意に高い。 ●本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く自分の考えと比較することは弱い。</p>
<p>書くこと</p>	<p>○伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く問題は有意に高い。 文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く問題や 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えるは有意に高い。 ●文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く問題は全国に比べて有意に低い。 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く問題は無答の生徒が全国に比して多い。</p>
<p>読むこと</p>	<p>○資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する 問題は全国に比して有意に高い。 文章について説明したものとして適切なものを選択する問題は有意に高い ●図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く問題の無答の割合が全国に比して高い</p>
<p>伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項</p>	<p>○辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える問題は有意に高い。 文章を書き直した意図として適切なものを選択する問題は有意に高い ●歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むの無答の割合が全国に比べて高い。</p>
<p>児童質問紙 国語に関する質問 問 25～28 生徒質問紙 国語に関する質問 問 25～28</p>	<p>○国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか質問に肯定的な回答の割合が有意に全国より多い。 ●国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますかという質問に否定的な回答の割合が有意に全国より多い。</p>

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（算数 数学）

学校名 久木中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>結果の概要</p>	<p>全体では全国を上回っているが領域毎に細かく見ていくと課題も多い。関数資料の整理については県 全国ともに下回り図形でもわずかではあるが下回っている。観点別では数学的な技能に課題が残る。回答様式では短答式に課題がある。</p>
<p>(算数) 数と計算</p> <p>(数学) 数と式</p>	<p>○数量の関係を文字式に表すことができる 問題 一元一次方程式の解の意味を理解している。問題について有意に全国より上回る。</p> <p>●具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることのできる問題と与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる問題については無答の割合が全国を上回った。</p>
<p>(算数) 量と測定</p> <p>(数学) 図形</p>	<p>○命題の逆を理解している。平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。問題については全国に比して有意に高い。</p> <p>●四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解している 問題については無答の割合が全国を有意に上回り多い。</p>
<p>(算数) 図形</p> <p>(数学) 関数</p>	<p>○比例の式について、x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる 加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる 問題については全国に比して有意に高い</p> <p>●2 (1) 3 (3) 9 (2) 9 (4) 10 (2) 10 (3) 11 問題の無答の割合が全国を上回っている。</p>
<p>(算数) 数量関係</p> <p>(数学) 資料の活用</p>	<p>○測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している。簡単な場合について、確率を求めることができる。問題は全国に比して有意に高い。</p> <p>●資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる。問題については全国を下回り、かつ無答の割合も全国に比して有意に高い。</p>
<p>児童質問紙 算数に関する質問 問 29～32</p> <p>生徒質問紙 算数に関する質問 問 29～32</p>	<p>すべての質問に渡って全国を上回る肯定的な回答が少なかった。また、B 問題については、時間が足りないという生徒の割合が全国に比して高かった。数学についてわかるようになりたいという生徒は多いのだが、数学が生活での必要性を感じる生徒の割合が少なかった。</p>

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（児童 生徒質問紙）

学校名 久木中学校

特徴的なことや課題と考えられること等

◇学習習慣

・学習習慣については保護者の協力もあり習慣化できている生徒と出来ていない生徒の 2 極に分かれてしまっている。

◇生活習慣

・スマートフォン等のメディアやゲーム機を利用する時間が県や全国に比べて長い生徒が多くおり、そのため就寝時間も遅い生徒が多くいる。

・読字（新聞や読書）する習慣について 2 極化していて、読む生徒と読まない生徒の差が激しくそのために、語彙力にも差が出ている。

◇言語活動、読解力

・友達とのコミュニケーションをとろうとしているが、相手の言いたいことより自分の言いたいことを優先させているので話し上手の聞き下手傾向がある。

◇自尊感情

自分を褒めてもらう事に関してはやってもらうことを望む生徒が多いが、自分から他人を褒めることはあまり出来ていない。

◇規範意識

・きまりなどを作ることに 대해서는積極的に参加しても、実行する段になると守れていないことが多い。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての学校としての取り組み

学校名 久木中学校

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

◇学習習慣

- ・自ら取り組むことが出来る課題を授業内で提示していく。
- ・課題解決型の学習を取り入れていく。

◇生活習慣

- ・スマートフォンなどの機器の利用時間についてのルールの取り決めを保護者の協力の下におこなっていく。

◇言語活動、読解力

- ・授業の中で発表するチャンスをつくる。
- ・生徒間での話し合いが出来る学習方法を確立させる。
- ・授業の目当て ねらいについては 毎時間提示した授業を実施する。
- ・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思っている生徒が多いので意図的に実施する。

◇自尊感情

- ・生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思うような場の設定をする。

・

◇規範意識

- ・ルールを守ることの大切さを道徳の授業の中で扱い、周りの人との関連性に気づかせる。